

子ども向けのマナー教室を開く内海加奈子さん(38) 高松市。人と人の関係や地域のつながりが希薄になる中、「マナーは人にさねたら嫌なことをしない、人にしてもらったらうれいことをするのが基本。教室を通じて、相手を思いやる心を身につけてほしい」と話す。

イベントや企業の展示会などでの司会が本業。多くの企業を訪問する中で「会社によってマナーのレベルが全然違う」と気づいた。その後、子役向けのマナー教室を開催したのがきっかけとなり、現在は中学生の職場体験前のマナー教室や



「マナーを通じて思いやりの気持ちを養って」と語る内海さん

子どもにマナー教室

子ども向けの話し方教室などを開いている。

マナーを身につけるにはコミュニケーション能力の向上が必須という。親子で参加する講座の場合は、まず親子でハグや握手をしてみよう。「お父さんやお母さんは日頃忙しい。まずは親子でコミュニケーションを取って」とアドバイスを送る。

子どもが飽きないようにレッスンをするのが難しいというが、「教室が終わり『先生、ありがとうございました』とちゃんと言えるようになった子を見ると、やっぱりうれしいですね」とほほえんだ。



あの人

この人

